

## 2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [ 木津川市立木津南中学校 ] 担当教諭名 [ 宮原 麻美 ] ( 美術部 20名 )  
 交流相手国 [ アメリカ ]  
 海外学校名 [ John Adams Middle School ] 担当教諭名 [ J.Joyce ]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	部活動	アートマイルプロジェクトで世界とつながろう	80

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Earth is love “To create a world in which everyone can share smiles and happiness.”
絵に込めたメッセージ	『地球は愛』—誰もが笑顔と幸せをシェアできる世界をみんなで創りあげること」をテーマに図柄を考えました。少年と少女が扉を開き、そして彼らは地球を支えています。地球には大きな虹色のハート(日本側とアメリカ側の色みが逆なのは、両国の文化の陰と陽を表しています。)と、居住地のシンボルフラワーが描かれています。扉の外側には、それぞれ国や居住地近郊の有名な建物、自然、食べ物、生徒たちがとても親しみを感じているものが描かれています。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
美術部としてのアートマイルも4年目で、生徒たちも見通しをもって取り組む事ができた。今回教師側はあまり口出ししなかったが、自分たちで工夫しながら最後まで気を抜かず協力しあって仕上げられた。生徒たちの感想には、正直しんどかったけれど、共同制作を通してお互いの事を知る機会になり、すごく達成感があったという意見が多かった。新聞2紙にも載せてもらって良かった。	壁画の制作進度もほとんど遅れることなく進んでよかった。フォーラム中心の交流だったが、PC室の使用が制限されていたので、生徒たちにあまり実感させられなかった。もっと自由にフォーラムを見られたら良かった。テレビ会議もやりたかったが、準備が十分にできず出来なかった。今後、チャンスがあればぜひやってみたい。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
今回は相手校が、姉妹都市の、毎年夏休みに交換留学生をやっている学校だという事もあり、市の国際交流協会からの取材もあった。学校だよりや校内の壁新聞で壁画の進行状況や相手校の生徒の写真を掲示した。完成した壁画が届いた時は、新聞2紙が取材に来てくれ、掲載してくれた。	壁新聞は、参観日等で保護者からも好評だった。校内の壁画展示も、出来映えが素晴らしいと、教師や生徒たちからもよい反響があった。新聞への掲載も初めての事だったが、喜んでいただいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	春	前年度台湾と共同制作した壁画を学校公開の日に展示して鑑賞した(6月)。7月にアメリカの姉妹都市から交換留学生が来校。壁画と資料を展示して、参加を呼びかけた。向こうの校長先生がとても気に入ってくださった。	1年生は、先輩たちの作品にととても感心していた。	部活動
情報収集	秋	2学期が始まり、正式に壁画交流を進めていく事になった。図書館で調べ学習をし、美術部内でプレゼンを行った。	図書室での資料を共有しながら、自分が興味を持って集めた内容を何度も繰り返し覚えていた。アメリカからの生徒写真や自己紹介の絵の作品、ビデオ等を、大変興味深く見ていた。	部活動
テーマ検討	秋	美術部の3年生も含めてテーマの候補を各自が持ち寄り、検討して1つのテーマにまとめた。その後各自が壁画のアイデアスケッチを描いて持ち寄り、1つの原案にまとめていった。	それぞれが、自分以外の案をととても興味深く見て、お互いに良い評価をしあっていた。学年を越えて、活発な交流がみられた。	部活動
制作	冬	冬休み一週間前より、本格的な制作に入った。冬休みは、正月を除いて、年末年始ほとんど毎日、半日活动を行った。	土日や冬休み中は、長時間寒い部屋での制作で、生徒にとっては辛いところもあったが、協力しあってよく頑張っていた。絵の制作に関しては、教師はタッチせずに見守ったが、よく工夫して進めていた。	部活動
鑑賞	春	3月の卒業式前に壁画を送って欲しいとリクエストしていたので届けてくださった。小包は生徒たちに開けさせた。新聞社2紙が取材に来てくれた。	壁画の小包オープニングセレモニーを部内で行った。壁画の完成が、思った以上に素晴らしいものだったので、皆感激していた。一緒に入っていたアメリカのお菓子にも喜んだ。春休みを挟んで、新学期になって改めて鑑賞会を行った。どの生徒もしっかり感想が書けていて感心した。	部活動

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解		5・4・③・2・1	素直に自国の文化について感想交流を行っていたから。もう少し深い掘り下げができればよかった。
異文化の理解	5	5・④・3・2・1	今まで知っているようで知らなかったアメリカのサンタモニカの文化について知るよい機会となったから。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)		5・4・③・2・1	今回は、自己紹介カードを英語で書いた程度で、直接英語をしゃべって交流する機会がなかったから。

情報活用能力 (情報収集・発信)		5・4・③・2・1	調べ学習では、図書館を利用したのが主だったから。コンピュータ室のネット利用や印刷がもう少し自由になると良かった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	4	5・④・3・2・1	普段あまり会話しない部員同士でも話し合ったり、相談したり、評価し合ったりする場面が多く見られたから。また、交流相手の写真や自己紹介も熱心に見て、感想を送っていたから。
協働する力 (役割分担・協力)	1	⑤・4・3・2・1	実際の制作は1, 2年生で行ったが、教師はあえて口をはさまず見守った。自分たちで役割分担をして、協力しながら進めていたから。完成した時の満足度も大きかったと思う。
学習を追究する意欲	3	⑤・4・3・2・1	2年生は、1年生の時から、先輩たちがどのようなアートマイル壁画を完成させたかを知っていたので、自分たちの代での壁画制作に最初から最後まで意欲的に取り組んでいたから。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	2	⑤・4・3・2・1	自分たちで出し合った意見やアイディアスケッチをうまく1つにまとめて表現できた。色やデザイン、下絵の描き表し方、絵の具のぬり方等、自分たちで効果を考えながら進めて、良い仕上がりになったから。
作品を鑑賞する力	2	⑤・4・3・2・1	自分たちの表現と、アメリカ側の表現の違いが新鮮に感じられたようだった。例えば、日本側が平面的に綺麗に塗って仕上げたのに対し、アメリカ側が陰影をつけて立体的に仕上げたこと、細かい所まで描き込んでいたこと、色調も日本が明るいパステルカラー調が中心だったのに対して混色して重厚な感じだったこと、構図や色遣いにも文化的な背景があることを、向こうの先生の説明で知った事などである。以下、生徒の感想文より。 「初めて大きな壁画を描くことができ良かったです。壁画がアメリカに早く着くといいなあ、と思ったり、アメリカから到着するのを待つのも何だか新鮮で楽しかった。」「最初はうまくできるか不安だったし、寒かったり、しんどかったりして辛い事もあったけれど、仕上がっていくうちに上手くできてきてみんなで盛り上がり楽しかったです。」「アメリカ側が加わって、予想以上に素晴らしい仕上がりになりました。みんな協力して作ると感動が増えて素晴らしいものが作れるんだなあと思いました。」「アメリカと日本の画力を合わせたらこんなにすごいんだなあ!と思った。」「アメリカの人が見てくれると思うと、はみださないように時間をかけていぬいにぬりました。とってもきれいな作品が出来て、時間をかけたかいがあったと思います。」「日本側の絵がアメリカの人たちにどう受け入れられるかな?と気になっていましたが、アメリカ側の絵はすごく美しくて壮大でびっくりしました。日本とアメリカの絵がいい感じでマッチしてすごく感動しました。私たちが描いている時に辛い思いや嬉しい思いをしたように、アメリカの方々も、そういう感情が絵にこもっていると思います。」「今年のアートマイルもいっぱい楽しんで最高の作品にしたいです。」「2回のアートマイル、楽しかったし良い経験ができたと思います。ぜひこれからも後輩たちに経験してもらいたい!」